

「釧路湿原自然再生協議会」

第 2 1 回 再生普及小委員会

平成 2 5 年 6 月 2 7 日

釧路湿原自然再生協議会運営事務局

釧路湿原自然再生協議会

第21回 再生普及小委員会

日時：平成25年 6月27日（木）15:30～17:30

場所：釧路市生涯学習センター まなぼっと4階 和室1・2

----- 議 事 次 第 -----

- 1, 開会
- 2, 議事
 - 1) 行動計画ワーキンググループの経過報告
 - 2) 環境教育ワーキンググループの経過報告
 - 3) 鶴居村釧路湿原流域ガイドマップの作成について
 - 4) 釧路湿原自然再生協議会基金の活用方法について
 - 5) その他
- 3, 閉会

----- 配 布 資 料 -----

- ・ 議事次第
- ・ 再生普及小委員会 委員名簿
- ・ 第21回再生普及小委員会 出席者名簿
- ・ 第21回再生普及小委員会 資料
- ・ 第20回再生普及小委員会ニュースレター
- ・ 意見・要望アンケート用紙

「釧路湿原自然再生協議会」

第 2 1 回 再生普及小委員会

資 料

平成 2 5 年 6 月 2 7 日

釧路湿原自然再生協議会運営事務局

目 次

【再生普及行動計画ワーキンググループの経過報告】

資料 1－1	2012 年度再生普及行動計画WGの取組み報告		1
資料 1－2	ワンダグリンド・プロジェクト 2012 活動報告		7
資料 1－3	「ワンダグリンド・プロジェクト 2012」活動報告（一覧）		9
資料 1－4	「ワンダグリンド・プロジェクト 2012」アンケート回答		13
資料 1－5	「ワンダグリンド・プロジェクト 2013」活動予定		15
資料 1－6	「ワンダグリンド・プロジェクト 2013」具体的取組予定（一覧）		17
資料 1－7	2013 年度再生普及行動計画WGの活動予定		21
資料 1－8	第 24 回再生普及行動計画 WG での議論の結果概要		23

【環境教育ワーキンググループの経過報告】

資料 2－1	環境教育ワーキンググループの取組み報告		25
参考資料	釧路湿原を題材とした学習資料		27

【鶴居村釧路湿原流域ガイドマップの作成について】

資料 3－1	鶴居村釧路湿原流域ガイドマップの作成について		29
資料 3－2	鶴居村釧路湿原流域ガイドマップ		31
資料 3－3	鶴居村釧路湿原流域ガイドブック(地図付録冊子) 構成・目次案		33

【釧路湿原自然再生協議会基金の活用方法について】

資料 4	釧路湿原自然再生基金の活用方法について		35
参考資料 1	釧路湿原自然再生協議会設置要綱		37
参考資料 2	釧路湿原自然再生協議会基金運用細則		41

【その他】

資料 5	再生普及小委員会の予定（案）		43
------	----------------	-------	----

2012 年度再生普及行動計画 WG の取組み報告

前回WG（2012 年 11 月 5 日開催）以降、以下の取組みを実施した。（「★」は 2012 年度に新たに実施した取組み、下線は 2012 年度の重点的な取組み事項を示す。）

1 行動計画の進行管理、活動支援

■「ワンダグリンド・プロジェクト2012」参加者への活動支援

- ・ メールニュースでの活動発信
- ・ FMくしろへの出演案内
- ・ イベント時、パネル展等での展示、資料配付での紹介
- ・ 活動PRの場の提供(まなトピア)

■「ワンダグリンド・プロジェクト2012」報告書作成

- ・ 2012年度に参加した50団体・個人74取組（協議会含む、資料1-3参照）について、活動報告を依頼。
実際に取組みを行った48団体・72取組を冊子にとりまとめて公表、6月より配布を行った。

■ ワンダグリンド・プロジェクト2013活動募集

チラシ、ポスターを作成、配布、広報等を実施し、参加者の募集ととりまとめを行った。



■ フィールドワークショップの実施

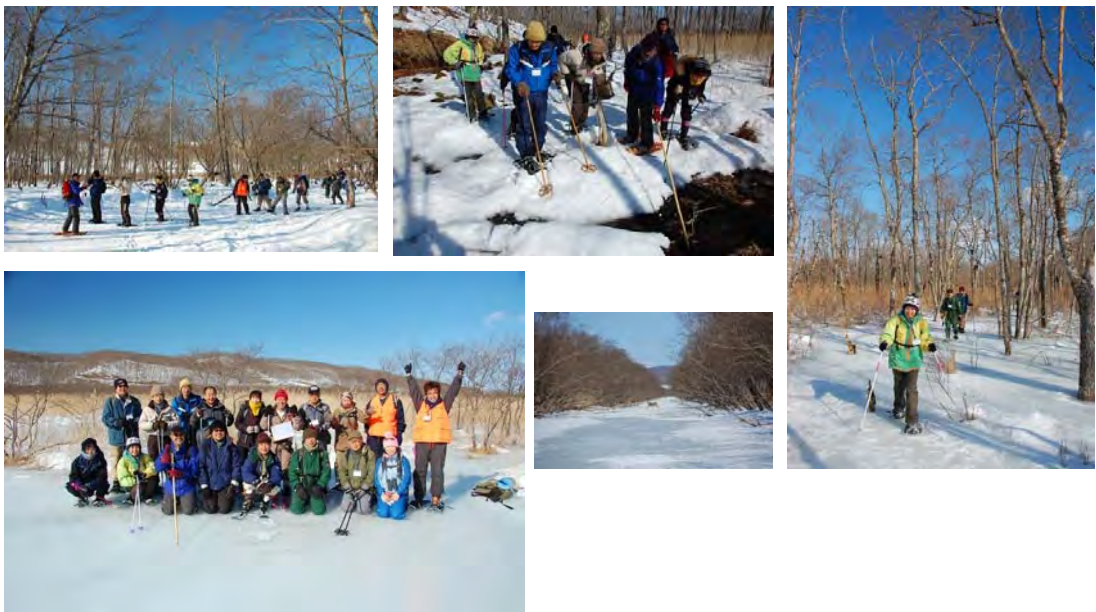
第10回「湿原と人の暮らしの境界～凍った川をゆく～」

日 時：2013年2月5日（火）8:00～15:00

案内人：新庄久志座長

参加者：13名

内 容：土砂流入対策の進められている久著呂川（水路）を歩いて、土砂堆積の伴うハンノキ林とその先のスゲの湿原を観察。



〈アンケートより（抜粋）〉

- ・ 湿原の水位の状況が高い感じがした。又今冬の天候によると思われるが氷が何層にもなっているのか自然のいとなみが感じられた。
- ・ ガイドする人が2～3人いたら良いと思う。説明が全員に届いていない。
- ・ 湿原の中には様々な生き物がいて、水が湿原に大切な役割を担っていることが新庄先生の話からわかりました。
- ・ 毎年参加し続けたいと思います。同時に毎年新しい参加者を増やす工夫をしたらと思います。こんな経験、もったいないから他の人に分けてあげたいですね。
- ・ 湿原の中の水の動きを見て感じる事ができた。自然の状態のハンノキ林を見ることで、自然再生後の目標となる環境の状態をイメージできた。（ハンノキ→ヨシ原ではなく、ハンノキ林→ハンノキ林への再生）土砂の堆積状況を解説で確認できたのが一番の成果でした。
- ・ カヌーで湿原の奥まで行ければまた湿原の違った面が見られると思います。

2 情報発信・普及活動の拡充

2-1 情報発信・普及活動

■★再生普及行動計画通信ホームページの運用と改定

- ・ 行動計画開始（2005 年）以来、初めて全面改良を行い、「みんなで進める！釧路湿原の自然再生」と題して 1 月に公開した。 <http://heco-spc.or.jp/kushiro/>
- ・ 自然再生事業をわかりやすく紹介するために、久著呂川土砂流入対策の実施計画の概要HPを作成し、公開した。 <http://heco-spc.or.jp/kushiro/plan/details/kuchoro/>
- ・ ブログ「自然再生の今！」を運営し、月3回程度更新した



■メールニュースの配信、掲示

- ・ワンダグリンダ・プロジェクトの活動紹介を配信中。（メールニュース『ワンダグリンダ☆ニュース』の配信：釧路湿原流域の講座やセミナー、イベント情報、「タクパさんのちょっぴりアイヌ語講座」、「ワンダグリンダ応募者ちよこっとおじゃまします！」等の内容で、毎月2回程度配信した。現在の配信先は361ヶ所。
- ・掲示場所が広がらず苦戦している。（ワンダグリンダ・プロジェクト推進サポーターは、2013年6月現在44箇所となり、（2012年度新規加入：釧路自衛隊駐屯地、ホテルマーシュランド）『ワンダグリンダ☆ニュース』をはじめ、ワンダグリンダ募集ポスター掲示やパンフレットなど各種資料配布、自然再生事業のポスター掲示などに協力をいただいている。

■市町村広報誌、新聞等メディアへの情報提供

- ・毎月釧路湿原国立公園連絡協議会の協力により、関係市町村に情報を配信した。（掲載については各市町村の判断によっており、釧路市には毎月掲載していただいた）
- ・その他、イベントごとに報道機関に情報提供等を行った。

■自然再生事業を紹介する実施計画のパネルを作成（幌呂地区湿原再生）



■ イベントへ出展による情報発信等

- ・ 11/10、11:「まなトピア 2012」(主催: 実行委員会)に参加し、航空写真で釧路湿原の大きさを感じてもらおうと共に、クイズで様々な取組が自然再生につながることを伝えた。



3 自然再生の参加の機会づくり

■ 釧路湿原自然再生現場見学会「湿原再生」(幌呂)

- 実施日時 : 2013年2月3日(日) 10時~12時
- 実施場所 : 鶴居村幌呂地区 湿原再生現場
- 対 象 : 鶴居村民
- 参加者数 : 9名
- 実施内容 : 事業の説明後、スノーシューを履いて湿原再生現場と周辺の湿原を散策。
湿原クイズ(景品あり)では水温を計測した。
- 案 内 人 : 新庄久志さん(湿原再生小委員会委員長、行動計画WG座長)
- 協 力 : 湿原再生小委員会(釧路開発建設部治水課)、鶴居村

〈アンケート回答より(抜粋)〉

- ・ 湿原はいつもそこにあると思っていたけれど自然と人がせめぎ合い、そしてやはり人は自然の偉大さに気がついた過程を今日知りました。人はやはり賢いです。人たるゆえんです。
- ・ なかなか入れない場所に案内していただいて植物の変化がよくわかりました。
- ・ 普段歩いて見ている風景の中に入れて興味深かった。
- ・ 自然再生の方法や目的、仕組みなどがよくわかりました。
- ・ 昔の湿原にもどけたら夢のようですね。
- ・ 再生作業を早く進めて行ってもらいたいです。



ワンダグリンド・プロジェクト2012 活動報告

■「ワンダグリンド・プロジェクト2012」参加者への活動支援

以下の活動支援を実施した。

- ・ ワンダグリンド・プロジェクト2012登録証の発行
- ・ ワンダグリンド・プロジェクトロゴマークの配布
- ・ メールニュースでの活動発信
- ・ FMくしろへの出演案内
- ・ イベント時、パネル展等での展示、資料配付での紹介
- ・ 活動PRの場の提供(エコフェア・釧路タンチョウ空港・霧フェス・鶴居ふるさと祭り・まなトピア)
- ・ フィールドワークショップの開催(2回)
- ・ 特典カヌーツアーのご招待
- ★ ワンダグリンド・プロジェクト参加団体間の交流座談会の実施
- ★ 「釧路湿原の自然再生に参加しよう！」イベントへの参加よびかけ
- ・ 報告書の作成、配布

■「ワンダグリンド・プロジェクト2012」報告書作成

2012年度に参加した50団体・個人74取組(協議会含む、資料1-3参照)のうち、実際に取り組みの行われた48団体・72取組について、活動報告をとりまとめ、冊子として釧路湿原自然再生事業普及行動計画2012年度の具体的取組として活動状況の発信を行った。

■参加者へアンケートを行いワンダグリンド・プロジェクトへの意向を伺った。(資料1-4参照)

「ワンダグリンダ・プロジェクト2012」 活動報告（一覧）

※「★」今年度新規参加を表す。

団体名	取組み概要	No
釧路湿原全国車いすマラソン大会実行委員会	第26回釧路湿原全国車いすマラソン大会を実施します	1
太平洋総合コンサルタント株式会社	標茶高校における体験型の環境教育を実施します	2
釧路湿原MTBクラブ	マウンテンバイクで釧路湿原周辺の林道ツーリングを行います	3
シルバーシティときわ台ヒルズ	釧路湿原について学ぶ自然文化講座を実施します。	4
辻野 正	ペーパークラフトで釧路湿原などの生き物を紹介します	5
釧路国際ウェットランドセンター	湿地・生物多様性に係わる途上国の行政官等を対象とした、湿地保全やワイズユースに関する研修を実施します	6
	釧路川蛇行復元現場周辺の環境調査を、地域の人々と一緒にを行います	7
	ホームページ、ニュースレター等による釧路湿原の情報発信をします（英語・日本語）	8
	世界湿地の日（2月2日）記念し、湿地を訪ねる「冬のエコツアー2013」を開催します	9
伊勢志郎	来訪者の釧路湿原国立公園来園記念に、折鶴を関連施設に提供します	10
川口 秀人	湿原の動植物や風景の写真をカレンダーやポスターにして多くの人が集まる場所などに掲示します	11
釧路湿原国立公園連絡協議会	温根内ビジターセンターと塘路エコミュージアムセンターで自然ふれあい行事を実施します。また来訪者などに自然解説や情報提供を行います。	12
	釧路湿原に関する情報提供を自然情報誌やガイドブック、ホームページなどで行います	13
	釧路湿原こどもレンジャー活動を実施します	14
	釧路湿原国立公園クリーンデーを実施します	15
釧路湿原マラソン実行委員会	釧路湿原マラソンを通じて湿原のすばらしさを参加者の方に伝えます	16
タンチョウコミュニティ	タンチョウのえさづくりプロジェクトの実施	17
くしろ自然再生解説員	釧路湿原の特徴や自然再生事業などについてボランティアで解説を実施します	18
釧路湿原川レンジャー	釧路湿原の良質な河川環境づくりに貢献します	19
かせいじん	湿原動植物の創作折り紙の製作・展示	20
市立釧路図書館 指定管理者 株式会社図書館流通センター	釧路湿原に関する情報提供及び、関連講座や展示を通じた湿原の紹介をします	21
(NPO)トラストサルン釧路	ナショナルトラスト地の環境保全作業にボランティアの方と共に取組み、湿原やトラスト地の観察会を行います。	22
カヌープロ	カヌーを通じ自然の素晴らしさや釧路湿原の大切さをつたえます	23
釧路ボタニカルアートの会	釧路湿原の植物を描きます	24
アトリエ「アリス」	釧路湿原などの自然を含む釧路地域の素晴らしさを描くことによってアピールする	25
	釧路に自生する植物を使ったアート作品の製作と発表	26
	釧路川周辺の清掃活動を実施します	27
釧路シャケの会	シャケの稚魚の里親募集と放流式を実施します	28
こどもエコクラブくしろ	釧路湿原における特定外来生物の調査（セイウオオマルハナバチ・ウチダザリガニ等）防除を実施します	29
沢田建設株式会社	釧路湿原近郊の清掃活動を実施します	30

さとぼん	ホームページによる釧路湿原の魅力や歩き方に関する情報を発信します	31
釧路短期大学	湿原をとりまく地域食材を使用した、学生考案の「咲くさクッキー」を釧路全日空ホテルと連携して販売し、湿原自然再生に還元します(諸活動と収益の一部寄附)	32
イオン釧路店 チアーズクラブ	フィールドや学習会を通し釧路湿原を学びます	33
林野庁北海道森林管理局釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター	「森林アクティビティ講座」の実施	34
	「雷別ドングリ倶楽部」の実施	35
	「お庭で苗木育成」の実施	36
タクパ(ペンネーム)	道東の自然や地名をアイヌ語で紹介します	37
お菓子司 二幸	「湿原まんじゅう」を販売します	38
オカリナ演奏 宮永真智子	オカリナ演奏で協力し釧路湿原に興味を持っていただきます	39
奈良 笹本由文	鶴居村私有林の自然林育成及び調査記録	40
(NPO) 釧路湿原やちの会	宮崎岬清掃登山を実施します	41
(財) 釧路市民文化振興財団(釧路市生涯学習センター)	釧路学教養講座「道東地方の自然と歴史(霧多布湿原を訪ねて)」を開催します	42
	釧路学教養講座「道東地方の自然と歴史(釧路湿原の湧水地を訪ねて)」を開催します	43
	いきいき女性講座「キラコタン岬から釧路湿原を眺めてみよう」を開催します	44
	まなぼつと子ども探検隊「森林と動物を調べる2012」を開催します	45
	湿原ほたる講座「釧路湿原の夜の隠れた風物詩を探ろう」を開催します	46
★ 釧路駐屯地曹友会	細岡展望台整備ボランティアをします	47
(株)FMくしろ	釧路短期大学の大西英一教授をナビゲーターにお迎えし、ラジオで湿原の魅力を発信します	48
(NPO) タンチョウ保護研究グループ	タンチョウの保護研究に関する教育普及活動を行います	49
(NPO) 北海道フィシャーズ協会	釧路湿原の清掃活動を行います	50
★ 西村 孝弘	釧路川流域で釣り人が放置していったライン等の撤去、回収をします。	51
(株) 日専連釧路	「日専連釧路フィッシャーメンズカード」利用額の一部を釧路湿原国立公園連絡協議会に寄付します	52
環境コンサルタント株式会社	達古武湖面をカヌーで清掃します	53
	湿原流域で体験型環境教育を実施します	54
環境省釧路自然環境事務所	自然再生事業を行っている達古武地区にて、市民体験調査会を行います	55
北海道阿寒高等学校	「地域巡検」を実施し、湿原や釧路の自然の大切さを体験します	56
(公財) 日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ	施設来訪者へのタンチョウの解説をします	57
	学生ボランティアネットワーク組織「F.A.ネットワーク」主催のワークキャンプの受け入れをします	58
	タンチョウティーチャーズガイド(TTG)講習会を開催します	59
	ボランティア・ツアー「グリーンホリデーin釧路～タンチョウの食事場所を整えよう～」を開催します	60

		クリーンウォークを実施します	61
	釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会	特定外来生物「ウチダザリガニ駆除調査」を実施します	62
		温根内木道定点解説を実施します	63
	ハートンツリー	食材で作る手作りコスメ、ハーブ栽培の実施	64
	リンク・リング	野生生物へのエサやりの是非の説明をして、人と動物・自然のかかわりについて考える機会を持ってもらう	65
	喜多島 麻鈴	コンサートを通じて、釧路湿原をPRしていきます	66
	★(NPO)環境把握推進ネットワーク～PEG	釧路湿原やそこに生息する動植物を題材とした学習会などの実施	67
	ボーイスカウト釧路第6団 カブ隊	自然観察や自然体験の実施	68
	★酪農学園大学 環境地球化学研究室	釧路湿原における温室効果気体の動態調査、水環境と温室効果気体の挙動調査	69
		49 団体・個人／69取組み	
	釧路湿原自然再生協議会	釧路湿原自然再生協議会や各委員会の情報を発信します(会議公開、HP、ニュースレター発行)	1
		学習会や講演会などを行います	2
		パネル展などを実施します	3
		視察・研修などを受入れます	4
		自然再生に関わる資料を発刊します	5
		50団体・個人／74取組み(協議会含む)	

「ワンダグリンド・プロジェクト2012」アンケート回答			資料1-4
質問	ワンダグリンドプロジェクトに参加してどのような成果がありましたか？今後の活動に役立てられそうなことがあれば、あわせてご記入ください。	ワンダグリンドプロジェクト2012で、不満だったことはなんですか？改善すべき点、ご要望などあればお書きください。	今後、ワンダグリンドを活性化するには、どのようなテーマや内容を希望されますか？アイデアがあればお聞かせください。
1	ワンダグリンドプロジェクトと通じて、タクツパさんの存在を知ることができ、2012年4月～2013年3月まで、アイヌ文化を発信することができました。毎月、四季折々の話題をまじえて、楽しくアイヌ文化を伝えていただき本当に感謝です。また、横のつながりが増えたと思います。	特にありません。	特にありません…。すいません。
2	・釧路湿原にかかわる色々な団体、個人と交流が持てた。 ・上記の交流の中で、釧路湿原に関連する様々な情報が得られた。 ・フィールドワークショップなどのイベントに参加し、当センターの活動にとって有益な情報や発見が得られた。		・「食」「観光」「学び」など、テーマを絞った野外でのワークショップ ・釧路湿原における「次代に伝えたい宝探し」
3	情報の発信はおこなっているものの、訪問者の反応等が分からず、評価が出来ません。	不満だったことは特にありません。	
4	活動のPRになるとともに、参加者の獲得につながりました。イベントを実施する上では、なによりもありがたいことと感謝しています。	イベントなどの告知には、新聞や各市町村広報誌など、依然として紙媒体も効果的です。また子どもや親子向けイベントについては、各市町村の学校に告知できると効果的とも思います。紙媒体での告知ができるようしくみを作ってもらえるとありがたいと思います。	多くの方々に情報を発信してもらえることが当団体の期待することです。ワンダグリンド自体の認知度をさらに高め、今まで以上に多くの方々に発信して欲しいと思います。参加団体と一緒に、道内の各種イベントに積極的に参画し、PRするのもよいかもしれません。
5	イベントについて、ワンダグリンドニュースなどで、積極的に広報していただき、たいへん助かっております。	特に思い当たりません	昨年の協働プロジェクトは初めての参加者も多くあり、とても当団体にとって有効でした。今後も継続して頂きたいです。また、他団体との交流事業などがあると面白いかもしれません。
6	参加されている皆さんの湿原に対する情熱を知り、私も微力ながら湿原の魅力を広めていきたいと思っています。		子供達に湿原の大切さを広めて欲しいと思います。
7	幌呂地区の現場見学会「自然再生のお手伝い企画（ハンノキ調査その2）」、「冬の釧路湿原に出かけよう」では、地元の皆さんに湿原を体感してもらいながら、再生事業を紹介できる機会を作っていただきありがとうございました。来年度もよろしくお願いいたします。	特にありません	ワンダグリンドに参加している皆さん各自が作られた釧路湿原の学習ツールや資料などが、いろいろあると思いますが、それらをHP等に収集し、ワンダグリンド参加者なら誰でも自由に利用、配布できるような仕掛けづくり。

質問	ワンダグリンドプロジェクトに参加してどのような成果がありましたか？今後の活動に役立てられそうなことがあれば、あわせてご記入ください。	ワンダグリンドプロジェクト2012で、不満だったことはなんですか？改善すべき点、ご要望などあればお書きください。	今後、ワンダグリンドを活性化するには、どのようなテーマや内容を希望されますか？アイデアがあればお聞かせください。
8	図書館主催事業の湿原に関するお知らせを、メーリングリストに掲載していただき、周知・宣伝に活用させていただいております。		当図書館には、観光に関するパンフレットを集め、図書館来館者にご自由にお持ちいただくコーナーがあります。釧路湿原や周辺施設に関する、観光パンフレットやリーフレットがあれば、市内外の方々からの好評を得られるのではないかと思います。
9			・全般的に、多少、マンネリ化してきたような感じがする(個人的感想) ・ワンダグリンドの活性化とは、最終的にどのような活動(?)に高めていくのか、具体像が見え難い ・富原小学校でのブースを設けての学習会は、面白い取組みだったと思うが、各団体の横の繋がりが交流がなく、少しもったいないように感じた ・ワンダグリンドの各参加者は、共通の目的の下に集まっているため、個別の活動だけでなく、複数による共同(協働)イベント等を企画してはどうか ・ただ、その場合は、複数だからこそ可能な企画を立案する必要がある
10	いろいろな団体や人達と知り合い地域の人のつながりを感じ、私個人レベルも向上し、新たな作成意欲がわいてきました。	特にありません。	特にありません。
11	一年に一回の定例の行事として企画していますが、今年は更に厚岸の子供達も参加し低学年の子供の参加も増えています。身近な自然である湿原を沢山も子供に知ってもらえるよう企画しています。	事務局の企画がどうしても平日なので、子供の参加ができない。	夏休み、冬休み期間中の企画を増やして欲しい。
12	これまで、全国の一般や学生のボランティアのみと行ってきた「タンチョウの自然採食地づくり」が、地域の子供たちと行いたいと考えていた時に日本製紙クレインズの方たちの協力を得て行えるようにコーディネートしていただき実施できたこと。		
13	皆さんの活動状況情報が大変良くわかる。	特に有りません	カヌーで湿原内部への調査？

「ワンダグリンド・プロジェクト2013」活動予定

■「ワンダグリンド・プロジェクト2013」募集

2月12日～3月12日を集中募集期間として募集チラシを作成（参考資料参照）各施設に配布、また新聞、HP等で広報し「ワンダグリンド・プロジェクト2013」の参加者を集めた。

○総数： 51団体（個人） 78取組（協議会含む）

○新規

- ・愛国幸恵町内会：町内会で特定外来種のパンプ配布による拡散防止の普及
- ・品田 忠さん：木の作品作りから湿原の大切さを伝える
- ・（株）釧路マーシュ&リバー：カヌーやガイドを通して釧路湿原の魅力を発信する

*第24回WGの終了後「ワンダグリンド・プロジェクト2013」として公開。

（資料1-6参照）

■「ワンダグリンド・プロジェクト2013」参加者への活動支援予定

- ・ワンダグリンド・プロジェクト2013登録証の発行
- ・ワンダグリンド・プロジェクトロゴマークの配布
- ・ワンダグリンド・プロジェクト普及シールの配布
- ・ワンダグリンド・プロジェクト参加団体間の交流場の提供
- ・メールニュースでの活動発信
- ・FMくしろへの出演案内
- ・ホームページでの取り組み紹介
- ・パネル展等での展示、資料配付での紹介
- ・活動PRの場の提供（エコフェア・産業まつりなど）
- ・自然再生と市民をつなげる場の提供（自然再生参加イベント）
- ・学習、交流の場としてフィールドワークショップの開催（2回）
- ・特典カヌーツアーのご招待
- ・報告書の作成、配布

「ワンダグリンド・プロジェクト2013」 具体的取組予定（一覧）			
※「★」新規参加を表す。		2013年4月	
団体名	取組み概要		No
太平洋総合コンサルタント株式会社	標茶高校における体験型の環境教育を実施します	9～10月/2～4回	1
川口 秀人	湿原の動植物や風景の写真をカレンダーやポスターにして多くの人が集まる場所などに掲示します	毎月	2
釧路国際ウエットランドセンター	釧路川蛇行復元現場周辺の環境調査を、地域の人々と一緒に行います	初夏、秋/各1回	3
	湿地・生物多様性に係る途上国の行政官等を対象とした、湿地保全やワイズユースに関する研修を実施します	5-7、7-10月/3回	4
	ラムサール釧路会議開催20周年を記念するイベントを開催します	7月上旬	5
	ホームページ、ニュースレター等による釧路湿原の情報発信をします（英語・日本語）	随時	6
沢田建設株式会社	釧路湿原近郊の清掃活動を実施します	6,7月・10,11月/各1回	7
西村 孝弘	釣りの自警活動の一環として釧路川流域で釣り場周辺で清掃活動を行います	通年	8
釧路駐屯地曹友会	細岡展望台整備ボランティアをします	7月上旬	9
	カヌー教室を実施し釧路湿原を魅力を味わいます	8月～9月	10
タンチョウコミュニティ	タンチョウのえさづくりプロジェクトを実施します	5、9、1月他	11
市立釧路図書館 指定管理者 株式会社図書館流通センター	釧路湿原に関する情報提供及び、関連講座や展示を通じた湿原の紹介をします	随時/1回程度	12
辻野 正	ペーパークラフトで釧路湿原などの生き物を紹介します	随時	13
(NPO)タンチョウ保護研究グループ	タンチョウの保護研究に関する教育普及活動を行います	6、7、1月、随時	14
釧路湿原国立公園連絡協議会	釧路湿原に関する情報提供を自然情報誌やガイドブック、ホームページなどで行います	通年	15
	温根内ビジターセンターと塘路エコミュージアムセンターで自然ふれあい行事を実施します。また来訪者などに自然解説や情報提供を行います。	通年	16
	釧路湿原こどもレンジャー活動を実施します	随時	17
	釧路湿原国立公園クリーンデーを実施します	随時	18
伊勢志郎	来訪者の釧路湿原国立公園来園記念に、折鶴を関連施設に提供します	通年	19
釧路湿原MTBクラブ	マウンテンバイクで釧路湿原周辺の林道ツーリングを行います	通年/月2回	20
環境省釧路自然環境事務所	自然再生事業を行っている達古武地区にて、市民体験調査会を行います	年2回	21
(NPO)釧路湿原やちの会	広域農道クリーンウォークをします	5月中旬	22
(株)日専連釧路	「日専連釧路フィッシャーメンズカード」利用額の一部を釧路湿原国立公園連絡協議会に寄付します	通年	23
カヌープロ	カヌーを通じ自然の素晴らしさや釧路湿原の大切さをつたえます	5月～10月	24
ハートンツリー	地球と体にやさしい暮らしを提案します	随時	25
林野庁北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター	「森林アクティビティ講座」の実施	春・夏/各1回	26
	「雷別ドングリ倶楽部」の実施	通年/5回	27
	「お庭で苗木育成」の実施	通年	28
こどもエコクラブくしろ	釧路湿原における特定外来生物の調査（セイヨウオオマルハナバチ・ウチダザリガニ等）防除を実施します	5月～10月/6回	29
タクパ（ベンネーム）	道東の自然や地名をアイヌ語で紹介します	通年	30

★ 愛国幸恵町内会	町内会員宅に特定外来種のパフレットを配布し、拡散の情報を提供します	夏/1回	31
環境コンサルタント株式会社	達古武湖面をカヌーで清掃します	6～7月	32
	湿原流域で体験型環境教育を実施します	8～10月	33
酪農学園大学 環境地球化学研究室	釧路湿原における温室効果気体の動態調査、水環境と温室効果気体の挙動調査	7～12月/月1回	34
シルバースティときわ台ヒルズ	釧路湿原について学ぶ自然文化講座を実施します。	1～3月/1回	35
(財)釧路市民文化振興財団 (釧路市生涯学習センター)	いきいき女性講座「キラコタン岬から釧路湿原を眺めてみよう」を開催します	7月上旬	36
	まなぼつとシニア講座「釧路湿原」～タンチョウと湿原の草花」を開催します	8月下旬	37
	ふるさと講座 湿原ほたる講座「釧路湿原の夜の隠れた風物詩を探ろう」を開催します	7月下旬	38
	釧路学教養講座「霧多布湿原を訪ねて」を開催します	7月中旬	39
	まなぼつと子ども探検隊「仮」森と遊ぶ2013」を開催します	10月12日	40
★ 品田 忠	木の枝の作品造りや展示を通し湿原からの水の大切さ伝えます	木工教室冬/1回、 展示4月～7月	41
★ (株)釧路マーシュ&リバー	釧路川カヌーツーリングや釧路湿原探索ガイドをすることで釧路湿原の魅力を全国、全世界の皆さんへ発信していきます	通年	42
イオン釧路店 チアーズクラブ	フィールドや学習会を通し釧路湿原を学びます	夏か秋/1回	43
釧路シャケの会	シャケの稚魚の里親募集と放流式を実施します	5月	44
釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会	グリーンウォークを実施します	4月～11月	45
	特定外来生物「ウチダザリガニ駆除調査」を実施します	4月～10月	46
	温根内木道定点解説を実施します	7月～9月	47
釧路湿原全国車いすマラソン大会実行委員会	第26回釧路湿原全国車いすマラソン大会を実施します	8月24、25日	48
釧路短期大学	湿原をとりまく地域食材を使用した、学生考案の「咲くさクッキー」を釧路全日空ホテルと連携して販売し、湿原自然再生に還元します(諸活動と収益の一部寄附)	通年	49
釧路湿原マラソン実行委員会	釧路湿原マラソンを通じて湿原のすばらしさを参加者の方に伝えます	7月28日	50
お菓子司 二幸	「湿原まんじゅう」を販売します	通年	51
くしろ自然再生解説員	釧路湿原の特徴や自然再生事業などについてボランティアで解説を実施します	5、7、9月	52
釧路湿原川レンジャー	釧路湿原の良質な河川環境づくりに貢献します	6、8、9、1月	53
(株)FMくしろ	放送を通じて湿原にまつわる四季折々の話題を発信します	通年(毎週月曜日)	54
奈良 笹本由文	鶴居村私有林の自然林育成及び調査記録	随時	55
(NPO)北海道フィッシャーズ協会	釧路湿原の清掃活動をしします	5、10月	56
リンク・リング	野生生物へのエサやりの是非の説明をして、人と動物・自然のかかわりについて考える機会を持ってもらう	通年	57
北海道阿寒高等学校	「地域巡検」を実施し、湿原や釧路の自然の大切さを体験します	9月	58
(NPO)トラストサルン釧路	ナショナルトラスト地の環境保全作業にボランティアの方と共に取組み、湿原やトラスト地の観察会を行います。	5～11月/5～6回	59

(公財)日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウ サンクチュアリ	施設来訪者へのタンチョウの解説をします	10月～3月	60
	学生ボランティアネットワーク組織「F.A.ネットワーク」主催のワークキャンプの受け入れをします	8月、2月	61
	タンチョウティーチャーズガイド(TTG)講習会を開催します	12月	62
	ボランティア・ツアー「グリーンホリデーin釧路～タンチョウの食事場所を整えよう～」を開催します	10月、2月	63
	タンチョウの冬期自然採食地を守ろう	6月～9月	64
ボーイスカウト釧路第6団 カブ隊	自然観察や自然体験の実施	通年	65
喜多島 麻鈴	コンサートを通じて、釧路湿原をPRしていきます	随時	66
さとぼん	ホームページによる釧路湿原の魅力や歩き方に関する情報を発信します	通年	67
釧路ボタニカルアートの会	釧路湿原の植物を描きます	週に1度	68
アトリエ「アリス」	釧路湿原などの自然を含む釧路地域の素晴らしさを描くことによってアピールする	通年	69
	釧路に自生する植物を使ったアート作品の製作と発表	通年	70
	釧路川周辺の清掃活動を実施します	随時	71
(NPO)環境把握推進ネットワーク ～PEG	釧路湿原に生息する希少動植物や外来動植物に関する、学習会や講演会の実施	2～3回	72
	50 団体・個人／72取組み		
釧路湿原自然再生協議会	釧路湿原自然再生協議会や各委員会の情報を発信します(会議公開、HP、ニュースレター発行)	通年	1
	学習会や講演会などを行います	随時	2
	市民参加の見学会を実施します	随時	3
	パネル展などを実施します	通年	4
	視察・研修などを受入れます	随時	5
	自然再生に関わる資料を発刊します	随時	6
	51 団体・個人／78取組み(協議会含む)		

2013年度再生普及行動計画WGの活動予定

以下、「◎」はWGメンバーと事務局で実施するもの、「□」は事務局が行うもの、「★」は2013年度の新たな取り組みを示します。下線は今年度の重点的に取り組む事項をそれぞれ示しています。

1 WGの開催と行動計画の進行管理、活動支援

行動計画の進行管理、参加者の活動支援、活性化に向けた取り組みを行う。

◎ 行動計画WGの開催：2回程度開催(4月23日及び11月頃の2回を予定)

□ ワンダグリンド・プロジェクト2012活動報告書作成

□ ワンダグリンド・プロジェクト2013の進捗把握、活動支援

◎ ワンダグリンド参加団体間の交流の促進

◎ フィールドワークショップの開催(2回実施予定)

(1回目：7月10日(水)湿原再生の始まる達古武湖周辺、2回目：次回のWGで検討(1月～2月を予定)

◎ ワンダグリンド特権カヌーツアーの実施

2 情報発信・普及活動の拡充

2-1情報発信・普及活動

第2期行動計画の重点分野「釧路湿原を知る・楽しむ・学ぶ」を広げていくため、多様な活動を発信していく。

◎ メールニュースの配信(□)・掲示(◎)(月2回程度)

◎ (市町村) 市町村広報誌への情報提供、記事掲載

◎ FMくしろ「ゆうゆう湿原塾」への出演

◎ イベントへの出展、パネル展の開催等(□)、協力(◎)

(ときわ台ヒルズ、まなトピア2013、ラムサール条約20周年記念イベント等を予定)

◎ メディアへの発信、参加の働きかけ

- ◎ 知名度アンケートの実施
- ◎ 「自然再生ブログ」で自然再生事業の動きを伝える
- 釧路湿原自然再生事業実施計画概要版HPの作成
(幌呂地区湿原再生、達古武湖自然再生)

3 自然再生の参加の機会づくり

第2期行動計画の重点分野「自然再生に参加する・行動する」の機会を創設する。

- ★「釧路湿原の自然再生に参加しよう！」イベントの実施
- ★他小委との連携による、実施計画ごとの市民参加の機会づくり
- ◎市民活動(ワンダグリンド)による自然再生への取り組みを促進させる
 - * 今年度は各小委員会に呼びかけ市民参加の機会を増やすとともに、昨年実施の成果、反省を踏まえ、今年度版の「自然再生へ参加の機会」の創出を図る
- ★自然再生事業の地元向け見学会
 - (土砂流入対策(久著呂川)1回、水循環小委員会1回の実施を予定)
 - * 昨年実施の幌呂地区湿原再生現場、達古武地区森林再生現場は各担当小委員会が実施し、普及小委員会はサポートとして協力する。

第24回再生普及行動計画 WGでの議論の結果概要

市民参加イベント「釧路湿原の自然再生に参加しよう！」の促進について(検討)

【経緯】

行動計画ワーキンググループでは再生普及行動計画が 2010 年より第 2 期となったことにあわせ、湿原に関心をもつ人を増やす《知る、楽しむ、学ぶ》から《自然再生に参加する、行動する》ことに重点をおき、取組を進めています。

行動計画の 3 つの柱

- 1・釧路湿原を知る、楽しむ、学ぶ
- 2・自然再生に参加する、行動する
- 3・地域と関わり、人をつなぐ

「自然再生に参加する、行動する」を促進する取組のひとつとして、昨年度「釧路湿原の自然再生に参加しよう！」市民参加イベントを実施しました。

2012 年度「釧路湿原の自然再生に参加しよう！」市民参加イベントの概要と反省

- ・2012 年 6 月～8 月を「釧路湿原自然再生の市民参加の集中期間」に位置づけ、一般市民が釧路湿原の自然再生に参加できる機会を設け、集中広報した。
- ・ワンダグリンダの応募者に働きかけ、ゴミ拾い、ウチダザリガニなど外来生物の防除植林作業、自然再生事業の成果モニタリング、タンチョウの冬の採餌場整備、ボランティアガイド養成、募金活動など、12 の活動が行われた。
- ・いくつかの取組に日本製紙クレインズと連携することで、PR 活動や今まで湿原に関心を持つ機会となった。
- ・ワンダグリンダの応募者同士が連携することで、新しい取組やつながり強化につながった。
- ・一方、反省点としては以下が上げられる。
 - ★取組によっては参加者が少なく、また新しい層の人の参加は少なかった。
 - ★一部取組では、どのように釧路湿原の自然再生につながっているのか、参加者が理解できなかった。
 - ★募金活動やボランティアガイドが自然再生にどのようにつながるのかわかりにくく、イベントの趣旨がぼやけてしまった。

【検討内容】

同イベントを今年度も実施する予定にしており、ワンダグリンダの取組に加え、自然再生協議会の各小委員会（または再生サイト）での市民参加の取組を加えるなど、新たな試みを行う予定である。

今年度の『釧路湿原の自然再生に参加しよう！』イベントの実施により、市民の自然再生への参加が活発化するためにはどのように工夫すれば良いか以下のテーマで議論を行った。

①イベントの広報について

→どのような方法で広報や連携を行えば、今まで釧路湿原に関心を持っていなかった人達により多く、参加してもらえるのか。

②自然再生に参加しているという意識づけについて

→一般参加者に自然再生に参加しているという認識を持ってもらうためにはどのようにすれば良いか。

【検討結果】

（イベント広報の方法）

○FMくしろなどとタイアップして様々な形でPRしてもらう。

○町内会を通じて配布してもらう。

（自然再生の参加の意識づけ）

○その取組がどのように自然再生につながっているか、主催者が明確に伝える必要があり（間接的な取組は特に必要）、そのためのキットを用意してはどうか。

○チラシ等に自然再生にどのようにつながるか明確に記載する。

○事務局で取組の味付けを行う。

【今後の進め方と方針】

○現在、各小委員会およびワンダグリンダプロジェクト応募者にイベント参加を働きかけ、集約しチラシにする作業を行っている。

○作成したチラシに、それぞれの取組が「どのような形で自然再生につながるか」わかりやすく明記するほか、主催者が説明する旨、依頼をしている。

○今まで違った層にイベントに参加してもらうため、子どもや若者・長期滞在者など対象とする層を意識してPR活動を行うとともに、夏休みの自由研究や長期滞在者の知的好奇心を満たすこと・食や出会いの場の提供など関心を持ってくれそうな事項を意識して、各イベントの味付けを行っている。

環境教育ワーキンググループの取組み報告

1 教科学習での釧路湿原の活用促進を目的とした学習資料の作成、学習資料の活用促進

環境教育ワーキンググループのWEBサイト「きづく わかる まもる 釧路湿原」(kushiro-ee.jp)に、『釧路湿原を題材とした学習資料』のコンテンツを新しく作成し、マスコミやチラシ配布を通してWEBサイトの周知を図った(参考資料を参照)。PR チラシについては、北海道教育庁釧路教育局および各市町村教育委員会の協力の元、釧路管内の全小中学校に配布した。また、インターネット環境がない場合でも学習資料を活用することが可能なデータDVDを作成し、教員研修講座参加教員、実践校等へ配布し、活用促進を図った。

今後、教員から学習資料についての意見をアンケート等で収集し、これらを踏まえて、資料の充実、新たなテーマの作成等を行うとともに、学習資料の周知、活用促進を継続して行っていくこととしている。

2 教員研修講座の実施

理科や社会科の視点からフィールドワークを主体とした教員研修講座を釧路教育研究センターと共催で実施した。9月～10月に、公募講座として教員研修講座を1回実施する予定としている。

○体感！釧路湿原～理科と社会の視点から～塘路湖で行われている育てる漁業

実施日時 : 2013年5月13日(月)9時30分～16時00分

実施場所 : 標茶町塘路湖周辺

参加者数 : 小学校教員6名

実施内容 : ワカサギ孵化場でのレクチャー、地引き網体験等の活動を通して、自然環境と共にある地域の産業(漁業)や、地域の人々の取組について学んだ。

講師 : 土佐 良範 氏(塘路漁協組合長)

共 催 : 釧路教育研究センター

アンケート回答より(抜粋) :

- ・自然を守ることが産業を守ることだとわかり感動した。
- ・水産業と自然保護・生態系の維持との関わりを捉えながら学ぶことができた。
- ・自然あふれるフィールドの中で、60年以上も生活してきた地域の方の重い言葉を聞くことができて、大変すばらしい研修だった。内容を多くの人に広めていければと思う。
- ・講師のすばらしい知識の一端を知ることができ、大変心に残った。カヌー、地引網などの体験は、子供達への学習教材としても可能性が高く参考になった。
- ・視点(湿原、教科学習)、可能性を広げられたことに感謝する。

教員研修講座 実施風景



①開校式（オリエンテーション）



②わかさぎ孵化場見学・レクチャー



③孵化場（孵化槽）



④孵化場（小川への流れ出し）



⑤カヌー乗船前レクチャー



⑥カヌーでの湖観察



⑦孵化場近辺に上陸



⑧湖の環境、土地利用等のレクチャー



⑨地引き網体験（網入れ）



⑩地引き網体験（引きはじめ）



⑪地引き網体験（中盤）



⑫地引き網体験（水揚げ）



⑬魚類の同定・まとめ



⑭学習資料紹介、意見収集



⑮ふりかえり

釧路湿原を 題材とした 学習資料

釧路湿原を児童に身近に感じてもらう目的から、教科書で採用されている教材に対応した、釧路湿原に関する学習資料をWEBサイトにとりまとめました。

 <http://kushiro-ee.jp> ▼ ➡ ✕



釧路湿原および周辺の地層

(該当単元例: 小学校6年理科 大地のつくりと変化)

釧路湿原や周辺の丘陵地、海岸部で見られる地層を写真で紹介しています

(岩保木、昆布森など6箇所の地層を掲載)



釧路湿原に生息する生き物の食物連鎖

(該当単元例: 小学校6年理科 生き物と環境/生き物のくらしと環境)

釧路湿原の食物連鎖(一例)を表すイラスト、生き物のトピック、生き物の写真を掲載しています

(50点以上の生き物の写真を掲載)



プランクトン



ヤチウグイ



イトウ



オジロワシ

流れる水のはたらき～釧路川

(該当単元例: 小学校5年理科 流れる水のはたらき)

釧路川をテーマに、侵食や堆積の様子、上流から下流までの川の変化などを写真と合わせて動画で紹介しています

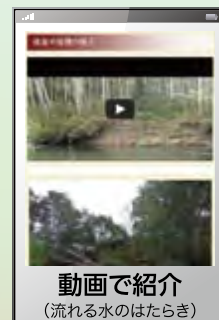
(釧路川の源流部(尾札部川)、上流域、湿原域の様子30箇所を掲載)



※学習資料のメニューは今後も増えていく予定です。

学習資料のポイント

- ①教科書に合わせてとりまとめており、教科学習の地域教材として活用できる
- ②高解像度の写真をダウンロードできる
- ③写真と合わせて動画も見ることができる
- ④テーマ別にとりまとめた写真を、地図情報と合わせて確認できる
- ⑤各学習資料に関するプラスアルファの情報を収録



作成 釧路湿原自然再生協議会 再生普及小委員会 環境教育ワーキンググループ (事務局: 環境省釧路自然環境事務所)

問い合わせ先 公益財団法人 北海道環境財団 (担当: 山本) TEL: 011-218-7811 E-mail: yamamoto@heco-spc.or.jp

鶴居村 釧路湿原流域ガイドマップ の作成について



鶴居村 釧路湿原流域ガイドマップの作成 ～釧路湿原の保全・再生と地域産業の連携に向けて～

釧路湿原の保全・再生

- ・ 釧路湿原の魅力、保全・再生の取組があまり知られていない(地元内外)。
- ・ 地域との連携や流域視点の保全・再生が十分ではない。

鶴居村の観光産業

- ・ 通過型の来訪者が多く、ゆっくり鶴居村に滞在してもらえない。

- ・ 釧路湿原の魅力や価値を多くの人に知らせたい。
- ・ 保全・再生の取組を多くの人々が知り、参加して欲しい。
- ・ 地域産業・暮らしに貢献する保全・再生でありたい。
- ・ 流域単位の保全、再生につなげたい。

- ・ 多くの人に鶴居村へ来てほしい。
- ・ ゆっくり滞在して、ありのままの鶴居村を知って欲しい。
- ・ 釧路湿原とつながる人々の暮らし(歴史・文化・食など)を知って欲しい。

釧路湿原流域をキーワードにした「ガイドマップ」の作成

- ・ 釧路湿原や流域でつながる鶴居村の魅力を紹介したガイドマップを作成し、来訪者に使ってもらうことにより、釧路湿原の保全・再生の普及啓発や活性化、滞在型観光の促進を目指す。

体制

タスクチーム(事務局)

- ・ 再生普及小委員会、鶴居村、鶴居村観光協会の3者の協働事業として、マップづくりを進める。

ミーティング

- ・ 鶴居村民(地元ガイドなどに加え、広報等で参加呼びかけ)、再生普及小の委員などと、マップづくりのアイデア出しや意見交換を行うミーティングを定期的に実施。

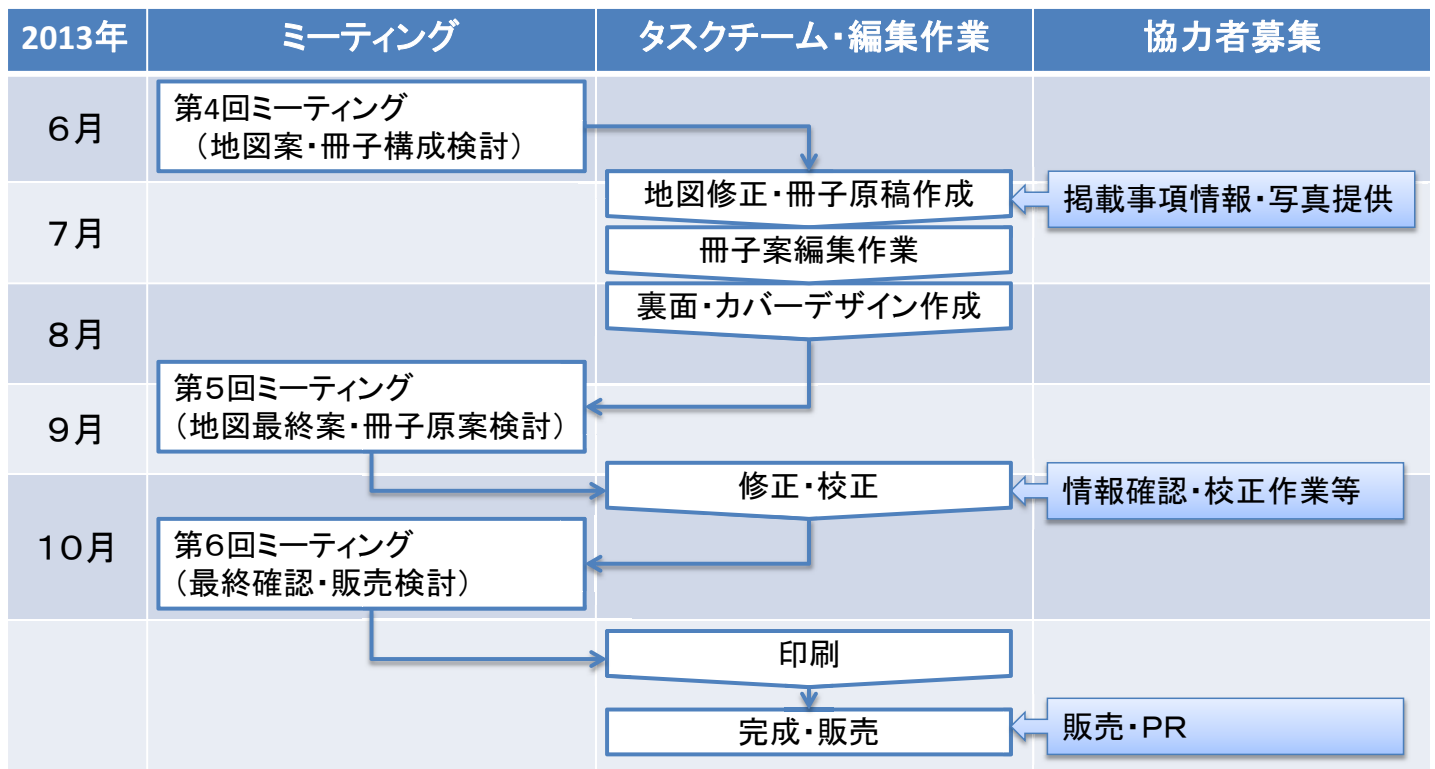


経緯と進捗状況

- 2011年12月 第2期再生普及行動計画の柱のひとつである「地域と関わり、人とつなぐ」の具体化に向けて、第18回再生普及小委員会で、自然再生と地域産業の連携を目的としてガイドマップを作成することについて検討。
- 2012年2～5月 村内関係者ヒアリング。
- 6月14日 第19回再生普及小委員会で、ミーティングを開催しながらガイドマップを作成していく方針を決定。その後、協議会、鶴居村、鶴居村観光協会が事務局(タスクチーム)となって、**村内への周知、協力依頼**等を行った。
- 9月13日 **第1回ミーティング開催**(HOTEL TAITO)・・・地図作成の目的や進め方について意見交換し、「鶴居のおすすめ」のアイデア出しを実施(参加者23名)
- 9月23日 **鶴居村ふるさとまつり**で来場者から「鶴居のおすすめ」を募集(27件)
- 10月4～19日 鶴居村役場で「**空から見た釧路湿原**」(航空写真展示)を実施し、「鶴居のおすすめ」を募集(55件)
- 10月19日 **第2回ミーティング開催**(鶴居村役場)・・・グループに分かれ、「鶴居村を楽しむコース」を検討した(参加者20名)
- (10月21日 自然再生現場見学会・・・下幌呂湿原再生サイトでハンノキ調査体験(参加10名))
- ～11月26日 「**鶴居の自然に優しい取り組み**」を村内から募集
- 2013年
- 3月6日 **第3回ミーティング開催**(鶴居村どさんこ牧場)・・・幌呂川流域の地図サンプルでイメージを検討し、冊子掲載事項についても意見交換した(参加者17名)
- 3～5月 事務局・タスクチームによる内容検討、地図案作成作業
- 6月21日 **第4回ミーティング開催**(温根内ビジターセンター)・・・地図原案・冊子掲載事項の検討

3

今後の予定



※ スケジュールは作業の進捗状況により柔軟に見直していく。

鶴居村 釧路湿原流域ガイドブック(地図付録冊子)構成・目次案

頁	目 次	内 容	図表・コラム等
表紙	鶴居村釧路湿原流域ガイド	写真、目次	
2	美しい村・鶴居村	鶴居村の地勢・気候・基本情報	〈図〉道東各地へのアクセスのよさを説明
3	鶴居村の1年	気候、行事、歳時記	〈図〉気温・降水量の札幌・東京との比較
4	季節のおすすめ～春	融雪・新緑風景、草花、山菜、野鳥	〈写真〉 各項目
5	季節のおすすめ～夏	アウトドア、キャンプ、霧	〈コラム〉 夜の楽しみ方(ホテル、星空)
6	季節のおすすめ～秋	畑のタンチョウ、金色の湿原、鶴見峠の紅葉、朝日夕日	〈写真〉 各項目
7	季節のおすすめ～冬	雪原と丘陵、けあらし・霧氷、タンチョウ、歩くスキー・スノーシュー	〈写真〉 各項目
8	湿原を知ろう	特徴、生成過程と遺跡、湿性植物、開発と保護の歴史	〈コラム〉 ヤチボウズとヤチマナコ
9	湿原の今と自然再生	湿原の今(湿地面積減少、外来種、エゾシカ)、自然再生事業とサイト紹介	〈コラム〉 下幌呂・久著呂の湿原再生
10	湿原保全に参加する	ウチダザリガニ駆除、採餌地整備等、村内での参加機会と情報源の紹介	〈コラム〉 ワンダグリンダ・プロジェクト
11	森と湿原と酪農	酪農、林業、アグリネットワーク等の紹介	〈コラム〉 酪農家的一天
12	タンチョウと暮らす村	タンチョウの歴史、保護活動、タンチョウスポット	〈コラム〉 タンチョウ・フレンドリーファーム
13	野生動物との出会い	エゾシカ、森と川の動物、危険な生き物(含ヒグマ)	〈コラム〉 外来種の話、〈写真〉 各動物
14	開拓と産業の歴史にふれる	川を遡る開拓、林業・鉱業・農業の歴史、軌道、入植碑	〈コラム〉 どさんこ
15	スローフードな鶴居	食の魅力、おしゃれなカフェ、チーズづくり、菜園等	〈コラム〉 酪楽館
16-17	流域ガイド～温根内川	ビクターセンター、遊歩道、貝化石、展望台、野鳥保護区	〈コース図〉 木道・軌道跡
18-20	流域ガイド～幌呂川	下幌呂散歩コース、中幌呂、上幌呂	〈コース図〉 下幌呂散歩コース
21-23	流域ガイド～雪裡川・アシベツ川	フットパス、市街地、サンクチュアリ、茂雪裡、支雪裡、鶴見峠、孵化場等	〈コース図〉 フットパス
24-26	流域ガイド～チルワツナイ・久著呂川	キラコタン・宮島岬、長谷川邸、どさんこ牧場、土砂流入対策	〈コース図〉 キラコタン・宮島岬
27	テーマ別おすすめコース	おすすめめの過ごし方・回り方4～5コース(雨の日の過ごし方も含む)	
28	鶴居村を楽しむルール	動物との距離、酪農家への配慮、車の注意、ごみ、立入規制と連絡先	〈コラム〉 釧路湿原の規制
29	もっと知りたい！鶴居村	ガイドリスト、アグリネットリスト、施設・情報源等	〈コラム〉 自然にやさしい取組(応募情報)
30-31	鶴居村便利帳	交通機関、食事、宿泊、商店、スタンド、病院(含む釧路)、状況別ガイド	〈コラム〉 住んでみる鶴居村(長期滞在・移住)
裏表	(奥付)	発行(連絡先)、編集、制作、協力	



鶴居村

釧路湿原流域 ガイドマップ

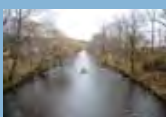
発行：釧路湿原自然再生協議会、鶴居村、NPO法人美しい村・鶴居村観光協会

Tsurui Village

久著呂川・チルワツナイ川流域

Kuchoro River/Chiruwatsunai River

久著呂川は村北端に源流を有し、本流のほぼ全てが標茶町との境界。チルワツナイ川は200m以下の丘陵から宮島・キラコタン両町間を流下する。わき水を集めて湿原中心部を静かに蛇行する姿は絶景。



鶴居村の川と釧路湿原

釧路湿原（面積 220.7 km²）集水域は約 2500 km²に及びますが、鶴居村（571 km²）を流れる川の水は全て釧路湿原に流れ込んでいます。鶴居村の森や水を守ることは釧路湿原を守ることにつながります。昔も今も鶴居村の暮らしは湿原とともにあるのです。

釧路湿原自然再生事業

戦後の農地の造成や宅地開発などで釧路湿原の面積の約 2 割が消失し、上流の山林の伐採跡地の荒廃等で現在も土砂が流入しています。これを少しでも食い止め、失われた湿原を再生する取組が行われています。

釧路湿原の入域・利用規制

釧路湿原の主要部分と周辺地域は、国立公園、鳥獣保護区、河川区域として、動植物の採取等が法律により厳しく保護されています。特に中心部は天然記念物に指定されており、キラコタン峠・宮島峠には許可なく立ち入ることはできません。

美しい鶴居村を楽しむルール

湿原だけでなく、牧草地や山林などの私有地に無断で立ち入ることは厳禁です。写真撮影やタンチョウの観察は、農家の仕事や通行する車の迷惑にならないよう、十分に注意してください。 ※詳しくはガイドブックをご覧ください。



久著呂川の土砂流入対策

Wetland Restoration Site

久著呂川の洪水対策や農地造成のための河川改修により蛇行が短縮されたため、中流部の渾濁や土砂の流入が増え、渾濁流入部に著しく堆積してハンノキ林が拡大している。このため、中流部の可動の安定化対策や渾濁流入部の沈砂池や土砂調整地の確保等による渾濁再生が進められている。

チルワツナイ川

源流

温根内川源流

源流

温根内川・大島川流域

Onnenai River/Oshima River

温根内川は標高 150m以下の丘陵に囲まれ、湿原内側で釧路湿原に流入する。中流以降はほとんど低湿湿原で、流域に集落はない。大島川は湧き水が豊富だが、上流は国立公園外で土砂流入など開発の影響を受けている。かつて渾濁流入部に生息していたニホンザリガニは確認できず、現在は外来生物のウチザリガニのみが生息している。



釧路湿原

下幌呂地区湿原再生

Wetland Restoration Site

1970 年代に農地開発された未利用地を地盤の切り下げや未利用排水路の埋戻しで湿地に戻し、ハンノキの成長を抑制した渾濁源と植生の回復を進めている。排水路からの土砂流入を止める沈砂池等も設置されている。

1 : 50,000 (2cm = 1km)

1km 0 1km 2km 3km 4km 5km

雪裡川・芦別川流域

Setsuri River / Ashibetsu River

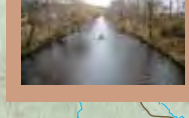
雪裡川は流域面積・流路長とも村内で最も大きく、釧路川水系でも本流に次ぐ規模を持つ。2 大給瀬や冬のねぐらなど、タンチョウにとって重要なスポットが下流に集中する。



幌呂川流域

Hororo River

阿寒国立公園に接する標高 752.3m 点を最高峰に、中幌呂を経て下幌呂で釧路湿原に流れ込み、新釧路川に合流する。下流部には、開拓、開発から現在の自然再生まで、人の暮らしと湿原の接点の物語がある。



凡例

- 自然観察・体験
Nature Watching / Related Spot
- 渾濁保全・再生スポット
Wetland Conservation / Restoration Site
- 歴史・産業スポット
Historical / Industrial Spot
- 各種施設
Facilities for Visitors
- 公共施設
Public Facilities
- グリーンツーリズム拠点
Green Tourism Base
- タンチョウ関連スポット
Japanese Crane Feeding / Related Site
- 雨の日におすすめ
Recommendation for Rain
- 注意事項
Caution
- 宿泊施設
Accommodation
- 飲食店
Restaurant / Cafe
- 商店・コンビニ
Convenience Store / Grocery Store
- ガソリンスタンド
Gas Station
- 学校
School
- 郵便局
Post Office
- 温泉
Hot Spring
- 公衆トイレ
Public Toilet
- バス停留所
Bus Stop



釧路湿原自然再生基金の活用方法について

(経緯)

- ・釧路湿原自然再生協議会では発足当時から募金を受け取っていたが、具体的な募金の活用がなされていなかった。
- ・前回の第18回協議会で募金を基金化して、活用できる仕組みづくりをおこなった。
- ・現在までに772,052円の寄付が集まっている。
- ・今までの寄付金の活用は、通信費の一部として活用したのみである。
- ・現在まで寄付をしていただいた主な団体等は以下のとおり。

○ワンダグリーンダプロジェクトの応募団体

- ・釧路短期大学(咲くサクッキー):複数回
- ・ビクター道東歌謡音楽研究会釧路町支部:複数回
- ・釧路ボタニカルアートの会
- ・山崎山林推進セラピー推進会

○中小企業金融公庫 釧路支店

○釧路湿原ゴルフトーナメント大会主催者

○釧路湿原保全と利用総合ガイドの売上金

○個人(匿名)

- ・前回の第18回協議会で、再生普及小委員会において基金の活用方法を検討してもらいたい旨、話があった。

(検討事項)

基金にあるお金の活用方法を今回の小委員会で検討したい。

(ポイント)

- ・釧路湿原自然再生の推進につながるもの
- ・寄付をいただいた団体等の思いに応えるもの
- ・他の事業では実施が難しいもの
- ・今後の寄付拡大の呼び水になるもの？

(今後について)

具体的な活用方法が決まれば、次回の第19回協議会で承認を取り、実際に活用したい。

釧路湿原自然再生協議会設置要綱

第1章 総 則

(名 称)

第1条 この自然再生協議会は、釧路湿原自然再生協議会（以下「協議会」と称する）という。

(対象区域)

第2条 協議会で検討する自然再生の対象区域は、釧路湿原及びその流域とする。

第2章 目的及び協議会所掌事務

(目 的)

第3条 釧路湿原の自然再生を推進するため、必要となる事項の協議を行うことを目的とする。

(所掌事務)

第4条 協議会は、次に掲げる事務を行う。

- (1) 自然再生全体構想の作成
- (2) 自然再生事業の実施計画案の協議
- (3) 自然再生事業の実施に係る連絡調整
- (4) その他必要な事項

第3章 構 成

(構 成)

第5条 協議会は、次に掲げる委員及びオブザーバーをもって構成する。

(1) 委 員

- ①自然再生事業を実施しようとする者
- ②地域住民、NPO等、自然環境に関し専門的知識を有する者、土地所有者等、その他①の者が実施しようとする自然再生事業又はこれに関連する自然再生に関する活動に参加しようとする者
- ③関係行政機関及び関係地方公共団体

(2) オブザーバー

協議事項との関わりが深く協議会に出席が必要とされる者

- 2 委員の任期は2年とする。ただし、途中参加する委員の任期は、その残任期間とする。
- 3 委員は募集によるものとし、再任は妨げない。また、委員の募集は毎年行うものとする。

(委員資格の喪失)

第6条 委員は、次の事由によって、その資格を喪失する。

- (1) 辞任
- (2) 死亡、失踪の宣言
- (3) 団体若しくは法人の解散
- (4) 解 任

(辞任及び解任)

第7条 辞任しようとする者は、第12条に規定する運営事務局に書面をもって連絡しなければならない。

- 2 協議会の運営に著しい支障をきたす場合、協議会の合意により委員を解任することができる。

第4章 会長及び会長代理

(会長及び会長代理)

第8条 協議会に会長及び会長代理を各1名置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 3 会長代理は、会長を補佐し、必要に応じ会長の職務を代理する。

第5章 会議および小委員会

(協議会の開催)

第9条 協議会は、会長が召集する。

- 2 協議会の議長は、会長がこれにあたる。
- 3 会長は、協議会の進行に際して専門的知見を有する者の意見を聴取することを必要と認める場合、協議会に委員以外の者の出席を要請することができる。
- 4 協議会は必要に応じ、第10条に規定する小委員会での検討状況報告を求めることができる。
- 5 第5条3による委員の募集を行った場合、募集結果を協議会に報告する。

(小委員会)

第10条 協議会は、第16条に規定する細則の定めにより、小委員会を置くことができる。

- 2 協議会委員及びオブザーバーは小委員会に所属することができる
- 3 小委員会の委員長及び委員長代理は、小委員会構成委員の互選により選出する。
- 4 委員長代理は、委員長を補佐し、必要に応じ委員長の職務を代理する。
- 5 小委員会は委員長の召集により開催される。
- 6 小委員会は次の事項を協議する。
 - (1) 実施計画案の内容
 - (2) 実施計画に基づくモニタリング結果

(3) その他必要な事項

- 7 委員長は、小委員会の進行に際して専門的知見を有する者の意見を聴取することを必要と認める場合、小委員会に委員以外の者の出席を要請することができる。
- 8 小委員会は、協議概要を第9条に規定する協議会に報告する。

(公 開)

- 第11条 協議会及び小委員会は、希少種の保護上または個人情報の保護上支障のある場合を除き、原則公開とする。
- 2 協議会及び小委員会を開催する際には、日時、場所等について予め広く周知を図る。
 - 3 協議会及び小委員会の資料は、ホームページ等で公開する。
 - 4 協議会及び小委員会の議事結果は、要旨をとりまとめて議事要旨とし、ホームページ等で公開する。

第6章 運営事務局

(運営事務局)

- 第12条 協議会の会務を処理するために運営事務局を設ける。
- 2 運営事務局は釧路総合振興局、釧路開発建設部、釧路自然環境事務所、釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター及び協議会で承認された委員で構成し、共同で運営する。

(運営事務局の所掌事務)

- 第13条 運営事務局は、次に掲げる事務を行う。
- (1) 第9条に規定する協議会の議事に関する事項
 - (2) 第11条に規定する協議会の議事要旨の作成及び公開に関する事項
 - (3) その他協議会が付託する事項

第7章 補 則

(寄付金)

- 第14条 協議会は釧路湿原自然再生推進のために、寄付金を得ることができる。

(基金の設置)

- 第15条 協議会は、次の各号に掲げる目的のために財産を維持し、資金を積み立て、又は定額の資金を運用するために基金を設けることができる。
- (1) 釧路湿原自然再生の推進のため
 - (2) 協議会及び第10条に規定する小委員会の運営事務局の維持のため

(細則)

- 第16条 この要綱に規定することの他、協議会の運営及び基金の運用に関して必要な事項は、

第9条に規定する協議会の同意を経て、会長が別に規定する。

(要綱改正)

第17条 この要綱は、第5条に規定する協議会の委員の発議により、協議会に出席した委員の合意を得て、改正することができる。

附 則

この要綱は、平成15年11月15日から施行する。

平成16年7月27日 一部改正

平成17年10月11日 一部改正

平成19年7月30日 一部改正

平成22年12月14日 一部改正

平成25年2月19日 一部改正

釧路湿原自然再生協議会基金運用細則

第1章 基 金

(予 算)

第1条 協議会は、釧路湿原自然再生推進のための寄付金及びその利息を基金とすることができる。

2 基金は次年度に繰り越すことができる。

(運用状況の報告)

第2条 会長は、基金の運用について、基金の額及び年度末における現在高を示す当該年度の基金の運用状況、次年度の使用計画を整理し、協議会に報告し承認を受けなければならない。

2 基金の運用に関する事務は、協議会運営事務局が行う。

第2章 決 算

(現金出納簿)

第3条 会長は、収入及び支出について、これを現金出納簿に整理しなければならない。

(決算説明資料の提出)

第4条 会長は、会計年度終了後2ヶ月以内に、次の各号に掲げる歳入歳出決算説明資料を監事に提出し監査を受けなければならない。

(1)決算報告書

(2)現金出納簿

(3)その他必要な書類

2 会長は、歳入歳出決算について協議会に報告しなければならない。

3 歳入歳出決算に関する事務は、協議会運営事務局が行う。

第3章 監 事

(監事)

第5条 監事は2名とする。

2 監事は、協議会での委員の互選によりこれを定める。

第4章 補 則

(細則改正)

第6条 この細則は、要綱第5条に規定する協議会の委員の発議により、協議会の会議の出席委員の同意を得たうえで、会長が改正することができる。

附 則

この細則は、平成25年2月19日から施行する。

再生普及小委員会の予定(案)

資料5

2012年 12月13日	第20回再生普及小委員会 開催 ・再生普及行動計画WG経過報告について ・鶴居村 釧路湿原流域ガイドマップの作成について ・環境教育WG経過報告について ・第2期再生普及行動計画の中間評価について		
2013年		1月30日	第11回環境教育WG 開催
2月3日	釧路湿原自然再生現場見学会「湿原再生」(幌呂)		
2月5日	第10回フィールドワークショップ 開催		
2月12日～	「ワンダグリンド・プロジェクト2013」募集スタート	3月	WEBサイト「釧路湿原を題材にした学習資料」公開
4月23日	第24回再生普及行動計画WG 開催	5月13日	教員研修(1)in塘路湖
6月27日	第21回再生普及小委員会 開催 ・再生普及行動計画WG経過報告について ・鶴居村 釧路湿原流域ガイドマップの作成について ・環境教育WG経過報告について ・釧路湿原自然再生協議会基金の活用方法について		
6月27日	ワンダグリンドプロジェクト交流座談会		
7月～	「釧路湿原の自然再生に参加しよう」市民参加イベントのスタート	8月	第12回環境教育WG 開催
7月11日	第11回フィールドワークショップ 開催	9月～10月	教員研修(2)
10月	第25回再生普及行動計画WG 開催		
11月	第22回再生普及小委員会 開催		